

## <平成30年度入校式>

4月1日(日)「平成30年度入校式」を味の素ナショナルトレーニングセンターで開催し、7競技13名が11期生として入校しました。

主催者代表として、平岡JOC副会長兼専務理事が「最初は上手くないかたの方が多くあるかと思いますが、辛い時も少し我慢して頑張ってみてください。先輩の中には、世界選手権で優勝し、東京2020オリンピック大会への出場が有力となっている先輩もいます。皆さんにも先輩に追いつき、そして追い越していただきたいと思っています。」とメッセージを送りました。その後、来賓代表としてスポーツ庁競技スポーツ課の粕井圭子課長から「今の気持ちを大切に、世界を目指して頑張ってください」との祝辞がありました。

在校生の月野さん(帝京高3年)からは、「JOCエリートアカデミーによろこそ。私たちも入校して間もない時期は、様々な面で悩みました。でも、それを乗り越えることで大きく成長することが出来ました。困ったことがあれば相談してください。一緒に考えましょう。」と力強い歓迎の言葉が贈られました。

11期生は来賓や競技団体、JOC関係者、エリートアカデミー保護者、在校生らに見守られ、新生活への一歩を踏み出しました。

### =11期生紹介=



○尾崎 野乃香(おざき ののか)  
レスリング/東京都出身/帝京高1年

『私はエリートアカデミーに入り、生活面ではすべて自主的に行動し、コーチや先輩方に言われなくても気付ける人になりたいと思います。そして生活・競技において先輩の背中を見て吸収していきたいです。』



○ガレダキ 敬一(がれだぎ けいわん)  
レスリング/東京都出身/北区立稲付中1年

『ぼくはJOCエリートアカデミーに入校し、洗たくをしたり、一人で荷物を整理したりなどと、生活の面で良くてきていると思います。しかし朝練や二部練では先輩方についていけないのでついていけるように努力します。』



○菅野 煌大(かんの こうだい)  
レスリング/埼玉県出身/北区立稲付中1年

『ぼくがエリートアカデミーに入校して思ったことは、先ばいたちの差です。先ばいたちは、体力もあって、力も強くてとてもすごいです。ぼくも早く、おいつけるようにがんばります。』



○坂本 由宇(さかもと ゆう)  
レスリング/東京都出身/北区立稲付中3年

『私はJOCエリートアカデミーに入って、人間力や競技力をより高められるよう、先輩方や吉村コーチについていき頑張ります。また、将来オリンピックで優勝できるよう一生懸命頑張って強くなります。』



○小塩 遥菜(おじお はるな)  
卓球/岐阜県出身/北区立稲付中1年

『私が頑張ることは2つあります。1つ目は、人間力の中の1つである礼儀をしっかりすることです。2つ目は、筋力をつけて、カットは守備を広くすること、攻撃は、一発で決められるように頑張ります。』



○坪 颯登(つぼ はやと)  
フェンシング/青森県出身/北区立稲付中3年

『僕はエリートアカデミーに入校して、競技力の向上だけでなく、人間力の向上も目標に頑張りたいです。また、生活面ではルールを守って生活し、常に自主的に行動していきたいです。』



○安田 舞(やすだ まい)  
水泳(飛込)/鳥取県出身/帝京高1年

『入寮して約1週間が経ち、少しずつですが生活にも慣れてきました。とても頼りになる先輩たちに支えられ、競技に打ち込む事ができています。初心を忘れず常に感謝の気持ちを持ち目標に向かっていきたいです。』



○高木 葵(たかぎ あおい)  
ライフル射撃/岐阜県出身/成立学園高1年

『入校してから約一週間がたち、先輩方が私にたくさんのことを教えてくださったおかげで徐々に生活にも慣れてきました。しかし、競技面でも生活面でもまだまだ課題が多くあるので、少しずつでも努力を積み重ねていくことを大切にしながら頑張りたいです。』



○西田 葵(にしだ あおい)  
ライフル射撃/秋田県出身/北区立稲付中1年

『JOCエリートアカデミーに入校してまだ間もないのですが、すでにいくつもの行事に参加し、自分の目標やそのためにやらなければいけないことが、より明確になってきました。これからも、その目標達成の道を一步一步歩いていき、努力を惜しまず生活していきたいです。』



○中條 扇之介(なかじょう せんのすけ)  
ボート/山形県出身/成立学園高1年

『僕はエリートアカデミーの活動を通して競技力はもちろん、人間力も向上出来るように頑張りたいです。そのために人とのつながりを大切にして、何事にも積極的に取り組み、自分の目標を達成出来るように頑張ります。』



○上野 美歩(うえの みほ)  
ボート/岐阜県出身/成立学園高1年

『私は、エリートアカデミーに入校して先輩方から色々な事を学びま

した。これからは、他の競技からたくさん学んだり、刺激を受けたりして、人間力・競技力の両方を向上させていきたいです。そして、この良い環境を上手く活用していきます。』



○伊藤 魁晟(いとう かいせい)

アーチェリー/広島県出身/北区立稲付中3年

『エリートアカデミーに入校して、これまでの意識では、まだまだ世に遠いということを実感しました。そこで、これからの練習や生活では、世界で結果を残すんだという意識を持ち、人間力向上に努めていきます。』



○野田 慶一郎(のだ けいいちろう)

アーチェリー/岐阜県出身/北区立稲付中1年

『アスリートヴィレッジに入寮して生活をすると、改めてたくさんの人々にお世話になっていると実感しています。自分を支えてくださる人々に感謝して、練習に励みたいと思っています。』

## 〈平成29年度主な大会成績〉

JOCエリートアカデミーが10年目を迎えた平成29年度、在校生から初めての世界選手権優勝者が誕生しました。修了生を含めると3競技で4つのメダル(金1、銀2、銅1)を獲得し、ジュニア・カデ世界選手権では4競技で8個のメダル(金4、銀4)を獲得しました。一方、国内でも今年度までの10年間で4競技13名が全日本選手権での優勝を果たしています。

### 《在籍生》

区分	大会名	1位	2位	3位	4~8位	計
国内	全日本選手権大会	2	1	4	2	9
	全日本選抜選手権大会	2	0	1	5	8
	JOCジュニアオリンピックカップ大会	6	0	3	8	17
	国民体育大会	4	2	3	5	14
	全国高等学校総合体育大会(同等の大会を含む)	4	4	2	1	11
	全国高等学校選抜選手権大会	1	0	1	4	6
	全国中学校選手権大会(同等の大会を含む)	3	2	1	0	6
	全国中学校選抜選手権大会	1	0	0	0	1
	上記以外の全日本選手権レベルの大会	3	1	2	5	11
	世界選手権大会	1	0	1	2	4
海外	世界カデット・ジュニア選手権大会	4	2	0	5	11
	アジア選手権大会	3	1	1	1	6
	アジアカデット・ジュニア選手権大会	0	1	5	2	8
	ワールドカップ(ワールドサーキット)	3	2	4	14	23
	ジュニア・ワールドカップ(ジュニア・ワールドサーキット)	4	5	2	5	16
	計	41	21	30	59	151

### 《修了生》

区分	大会名	1位	2位	3位	4~8位	計
国内	全日本選手権大会	5	4	0	2	11
	全日本選抜選手権大会	1	3	0	1	5
	JOCジュニアオリンピックカップ大会	4	2	2	0	8
	上記以外の全日本選手権レベルの大会	0	0	0	0	0
海外	世界選手権大会	0	2	0	0	2
	世界カデット・ジュニア選手権大会	0	2	0	1	3
	ユニバーシアード	2	0	2	0	4
	アジア選手権大会	1	1	4	0	6
	アジアカデット・ジュニア選手権大会	2	4	4	0	10
	ワールドカップ(ワールドサーキット)	2	4	4	7	17
計	19	22	16	11	68	

## 〈全体保護者会〉

入校式に引き続いて、平成30年度全体保護者会が開催され、保護者や家族34名が出席しました。

星野一朗JOC理事・NTCセンター長から挨拶があり、続いて競技団体スタッフを初めとして関係者が自己紹介を行いました。

その後、平成29年度事業報告と平成30年度事業計画について報告があり、活動方針などについて共通理解を図りました。

続いてJOCインテグリティ教育の上田大介ディレクターを講師として、「選手とソーシャルメディア」というテーマでSNSについての研修を行いました。研修では、ソーシャルメディアの使い方や危険性などを通してJOCエリートアカデミーに所属するアスリートの親としての心構えを理解し、適切な行動をとるための考え方を得ることを目的として、これまでの事例等も含めての説明が行われ、研修終了後も、講師に個別に質問するなどの保護者の意識の高さが伺えました。

## 〈SNS研修〉

4月5日(木)に教育プログラムの一環として「SNS研修」を行いました。この研修はJOCエリートアカデミーが実施している教育プログラムの一環として毎年行っているものです。

JOCインテグリティ教育の上田大介ディレクターを講師として、「選手とソーシャルメディア」というテーマで選手やコーチングスタッフ31名が参加しました。具体的な内容としては①ソーシャルメディアとは、②自分の置かれている立場を考える、③将来の自分のために今できることは、④それからのSNSの使い方を考える、という4つの項目についての研修を行いました。

この研修に参加した遠藤君(水泳/飛込:帝京高2年)は「僕は今回のSNS研修を受けてSNSが自分の運命と関わっている事を知りました。SNSであげた投稿が原因でプロの道を断念したスポーツ選手などがいると聞いて自分も一競技者として改めてSNSの使い方を見直したいと思います。」という感想を述べています。



【SNS研修の様子】

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。  
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>